

都立競技施設における アクセシビリティ・ワークショップ（第7回）

主な意見

日時 平成30年6月25日（月）

14:30～17:30

会場 東京スタジアム（調布市西町376-3）

1 議 事

- 「サイン計画の考え方」について
 - ・ サイン計画（配置・大きさ・多言語対応・ピクトグラム・色彩）の考え方を資料及び実寸大の見本をもとに説明
- 東京スタジアムにおける現地視察
 - ・ 会場敷地内から観客席へ向かう動線等を視察、その後、意見交換

2 説明内容・現地視察における主な意見

- ・ 総合案内図では、男女共用トイレや休憩室など、特定の場所に設ける設備の位置は表示してほしい。
- ・ 総合案内図の現在地の表示は、地図上の手前側にして、見るときの体の向きと地図の向きを同一にした方がよい。また、平面的な図の方が分かりやすい。
- ・ 総合案内板は、歩行者動線を踏まえ、分かりやすい場所に配置した方がよい。
- ・ 突き出しサインを活用するなど、歩く動線の方向を意識したサインの掲出の仕方を検討すべき。
- ・ 色のコントラストや文字の見え方などについて、弱視や色弱の方の意見も踏まえて計画した方がよい。
- ・ サインの色は、入口の総合案内図と目的地の突き出しサインなど、経路上で同じトーンにするべき。
- ・ トイレの入口に表示するピクトグラムや文字表示は、背景色を白くするなど、コントラストをしっかり確保する方が分かりやすい。
- ・ 意味のまとまりを考えて文字と文字の間隔を空けないと、知的障害者には理解しづらい。
- ・ メインゲート周辺に視覚障害者用の音声案内を設置すべき。
- ・ 座席には、列ごとでもよいので点字や浮き出し文字を付けることを検討すべき。